

北斗だより

令和7年度 第5号
(7月31日発行)
愛媛県立今治北高等学校

いのちを守る

校長 渡邊 琴子

私は校長職に就いて以来、夏休みに入る前の終業式の式辞では必ず、生徒たちに「いのちを守る」ことの大切さを説き続けてきました。以下に、今年度の第1学期終業式の式辞を掲載いたしますので御一読ください。

あっという間の真夏の到来が記憶に残る1学期が今日で終了します。生徒の皆さんには、この夏休みを有効に活用して、通常の学校生活では味わえない充実感を得てほしいと思っています。そのことに際して私がお願いしたいことはただ一つ、「命を守る行動をとる」ということです。

大げさに聞こえるかもしれませんが、夏休みにおける水の事故や交通事故で命を落とす児童生徒は残念ながら絶えません。「自分は大丈夫」「みんなが一緒なら大丈夫」という安易な判断が大きな事故につながることを心に刻んでください。

災害から命を守ることも大切です。3月の今治市林野火災ではたくさんの方が罹災・避難し、一時は今治市全域が停電する可能性まで心配されました。各家庭での災害時の備えや対応についても再度確認してください。感染症や熱中症など、この夏も私たちの命を脅かす要因は生活のあちらこちらに潜んでいます。正しい知識の下、病気や怪我の予防に努め、どうか安全に留意して楽しい夏休みを過ごしてください。

「いのちを守る」ということについて語るとき、伝えておきたいことがあります。私は、「いのち」という言葉に、心臓が動いて息をしているということだけではなく、「人としての尊厳」つまり「人として大切にされること」という意味も込めてお話をしています。あなたも私もかけがえのない存在であり、人として大切にされるべき存在です。そのことを胸に置いて、自分の振る舞いが人を大切にしているか、自分を大切にしているか、常に考えてほしいと思っています。心臓が動いて息をしているという意味の命も、人としての尊厳という意味の命も、傷付けてしまうと取り返しがつかないことは皆さんもよく分かっていることと思います。

もしも自分のことを大切に思えない、投げやりな苦しい気持ちになったときには、必ず誰かに相談をしてください。あなたのことを大切に思ってくれる人があなたのまわりには必ずいます。

以上、夏休みの間、「命を守る行動をとること」「人も自分も大切にすること」を強くお伝えして、1学期終業式の式辞といたします。

※お気付きの点や、御意見・御質問などありましたら、下に記入の上、お子さんを通じて担任まで御提出ください。

今治北高校の日々の様子をホームページに掲載しています。「今北日記」「生徒の活動」「部活動」など、ぜひ御覧ください。

今治北高等学校 学校公式サイト <https://imabarikita-h.esnet.ed.jp>

----- 切 り 取 り -----

____年 ____組 名前_____